

(件名) 鹿児島港本港区スポーツ・コンベンションセンター事業に関する陳情書

(陳情の趣旨)

私は、ドルフィンポート跡地に313億円もの費用をかけた新体育館建設が、既に進められているという現状を、去年の県知事選挙を前に知り、驚愕しました。

そして、その後も建設するにあたっての明確なビジョン、コンセプト、経済効果など、県民への説明は全く行われていないまま、今現在費用500億円以上に増幅となつてきている、そんな事業が進められていいはずがありません。

以前、塩田知事は、建築政策特別アドバイザーの方達と今後のドルフィンポート跡地への計画に対し会談を行ったりもされたと聞いています。

ですが、その後何一つ活かされることなく、このような建設計画が進められている事、どれだけの鹿児島県民が理解しているのでしょうか。

新体育館建設に反対は致しません。

ただ、本港区エリア・ドルフィンポート跡地ではないと思っています。

鹿児島のシンボル桜島、その島内はもちろんですが、桜島を目の前に臨む本港区エリアは、観光都市として鹿児島の魅力が詰まった、そんな場となることで、訪れる人も増え街に活気が溢れ、必然的に様々な経済効果を生まれることに、繋がっていくのではないかと思います。

これからの鹿児島を、未来ある活気溢れる鹿児島とするべく、もっと県民に寄り添い、県民の声に耳を傾けていただきたいと切に願い、下記事項を陳情します。

1. 事業の抜本的な見直しを求めます。
2. 計画を進めるのであれば県民投票の実施を求めます。
3. 県政と県民が意見交換できる集会の実施を求めます。